

あらゆる分析を いつでも確実に

GC および GC/MS ラボの運用効率を向上させる
Agilent 8890B ガスクロマトグラフィーシステム



Agilent 8890B GC システム

ラボをさらに前進

競争力の維持は、機器やスタッフを活用して、いかにタイムリーかつ正確にデータを生成できるかで決まります。Agilent 8890B GC システムは、ラボが課題に取り組むのを支援します。信頼性が高く、優れた自己診断機能を備えた最新世代の GC である 8890B は、高度な分析性能とマルチメソッドの柔軟性を兼ね備えているため、ダウンタイムの低減、業務の簡略化、持続可能性の向上を実現できます。その結果、日々のあらゆる分析において、生産性と収益性の向上が可能になります。



性能

ラボで日常のサンプル分析のための時間が足りないのなら、1 分でさえ無駄にできません。Agilent 8890B は高速サイクル時間のレベルをさらに引き上げ、サンプルスループットを最大化します。



インテリジェンス

システムがリークをチェックし、問題を検知し、修理の作業をガイドすることで、簡単に精度を高め、稼働時間を増やすことが可能です。Agilent GC Assist により、8890B ではエキスパートのように GC をメンテナンスできます。



持続可能性

廃棄物の削減と資源保全是、もはや避けることはできません。8890B では持続可能性の目標に対応し、効率を向上させる技術を採用しており、望ましいビジネス成果の達成を促進します。



これらが連携し、性能、インテリジェンス、持続可能性が、**生産性と収益性**の限界を押し広げます。

正確なデータを これまで以上に 迅速に提供する性能



優位性を維持するには、正確な同定と定量、微量成分に対する高い感度、複雑な混合物を識別するための特異性が必要です。8890B GC は実績のあるクロマトグラフィープラットフォームをベースとしており、業界最高レベルの性能により優れた信頼性、リテンションタイム、再現性を提供します。また、新しい時間短縮技術により、さらに多くのサンプルを分析できます。

高速サイクル時間で、毎日、より多くのサンプルを 分析可能

8890B GC は、従来のデュアルチャネル GC において、より高速の最高オープン温度の昇温/冷却速度を実現します。さらに高速のサイクル時間が必要な場合は、オプションの高速冷却ファンを使用できます。



クールダウン時間

旧モデルの GC

>4 分

Agilent 8890B GC

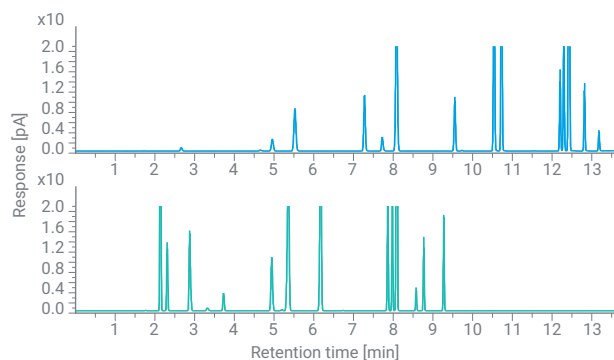
3.5 分

Agilent 8890B GC
高速冷却機能付き

<3 分

複数回の注入にわたって優れた再現性を提供

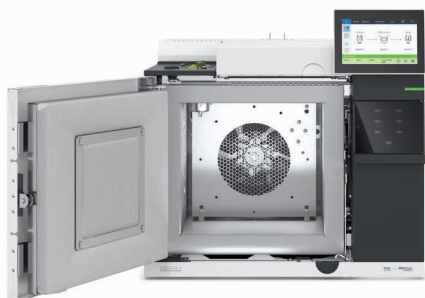
8890B GC への期待のうち最も重要なポイントは、一貫性のあるリテンションタイムと面積カウント性能です。またこのシステムは、USP メソッド <467> (残留溶媒) などの規制メソッドに必要なすべての仕様に対応しています。



USP 467 クラス 2a 化合物のクロマトグラム。

接続部や部品に簡単にアクセス可能

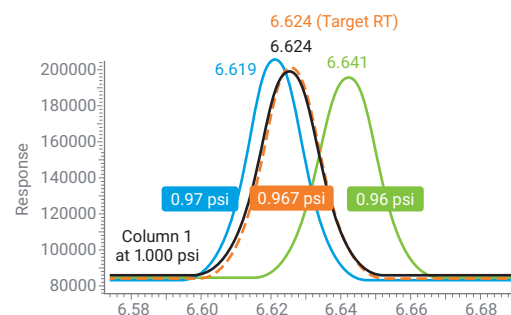
8890B GC の内部スペースを照らす内蔵オープンライトにより、メンテナンスをより簡単に、すばやく行うことができます。つまり、トラブルシューティングやカラム取り付けなどの作業を、エラーを低減しつつ、より短い時間で実行できます。



リテンションタイムロッキング（RTL）が一貫性とシームレスなメソッド移管を実現

RTL を使用して、同じラボで、または異なる場所において、システム間の QA/QC 測定を標準化できます。同じメソッドとカラム構成を使って、Agilent GC システム間でリテンションタイムを限りなく一致させ、長期の再現性とリテンションタイムの一貫性を確保することが可能です。

RTL は、3 ～ 5 回のリファレンス分析中に、注入口パラメータとリテンションタイムの関係を評価し、その結果を基に、システムのキャリブレーションを実行します。その後、再ロッキング分析を 1 回実行することによって、元のリテンションタイムをロックメソッドで一致させることができます。

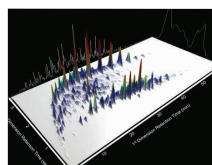
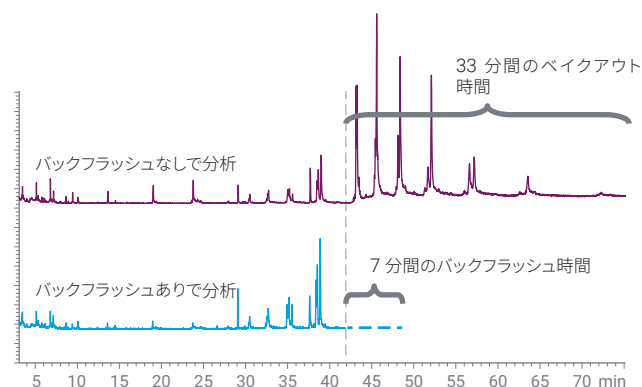


第 7 世代 EPC と高度なデジタルエレクトロニクスが非常に低圧のアプリケーションでの RTL 精度を向上させ、圧力設定値の精度（～ 0.001 psi）に新たなベンチマークを確立しています。

キャピラリー・フロー・テクノロジーにより GC 性能を向上

- バックフラッシュによって分析時間が大幅に短縮され、生産性が向上します。
- パージ付き Ultimate ユニオンによってリークのない接続が可能になり、ダウンタイムを低減できます。
- 流路スプリッタにより最大 3 台の検出器からデータを収集できます。
- 新しい CFT カリキュレータにより、特定のメソッドに対し計算済みの設定値をダウンロードし、時間を要し、エラーの発生しやすい手動での入力を回避できます。
- 多次元クロマトグラフィー：
 - Deans スイッチでハートカット分析を容易に実行し、複雑なマトリクス中の微量化合物を分離できます。
 - GC x GC のフローモジュレーションによって、冷却なしでの多次元クロマトグラフィーが可能になります。

Agilent キャピラリー・フロー・テクノロジーについては、[こちら](#)をご覧ください。



Agilent GC x GC リバースフローモジュレーションと GC Image GC x GC ソフトウェアを使用した、D8396 リファレンスジェット燃料の GC x GC 分離分析の 3D レンダリング。

最新の GC 分離



Agilent 8860B GC システムは、シンプルな操作を実現するとともに、Agilent GC システムに期待される、実績のある信頼性を提供します。



インテリジェントな Agilent 8850 GC システムは、市場で最小かつ最高速の高性能ベンチトップ GC です。

インテリジェンス 機能で生産性が 向上



Agilent 8890 GCをはじめとする最新の高性能 GC システムには、システム状態のモニタリング、潜在的な問題の注意喚起、問題解決支援などの機能が搭載されています。現在、最新のオンボードプロセッサを搭載した 8890B GC には、GC と MS システムの確実なメンテナンスと診断をサポートする、[Agilent GC Assist](#) が組み込まれています。これはつまり、ダウンタイムを低減し、トラブルシューティングを簡素化し、データ品質を損なうことなく分析時間を短縮できるということです。

GC Assist がもたらすメリット： 指先での詳細なコントロール

次世代のタッチスクリーンにより、システム状態をモニタリングしたり、診断にアクセスしたり、機器で直接メンテナンスを実行したりできます。また、タブレット、ノート PC、デスクトップ PC からほとんどの機能にアクセスできるため、いつでもどこでも機器の状態を把握できます。

ホーム画面

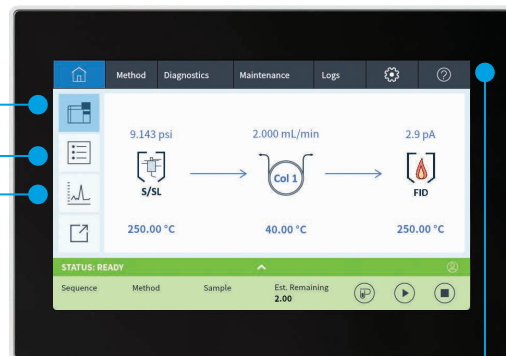
システム構成と流路の状態が一目でわかります。

機器実測値画面

使用頻度の高い設定値をすぐ使えるようにカスタマイズし、特定できます。

プロット画面

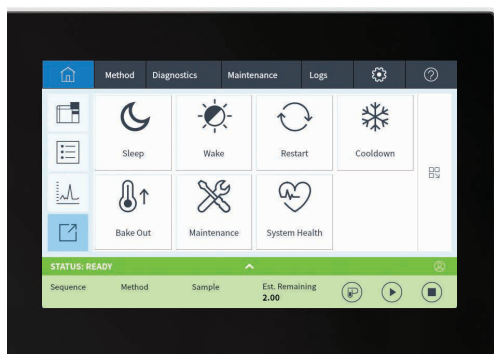
分析の進捗状況を確認できます。



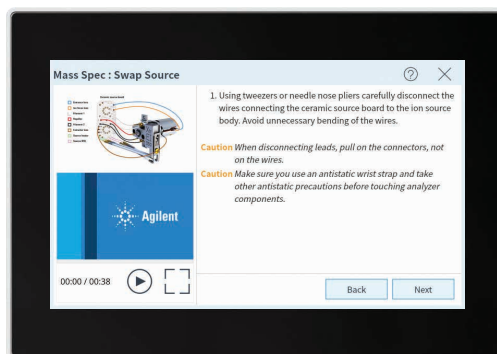
その他のタブ

次のような主要機能に簡単にアクセスできます。

- メソッド
- 診断
- メンテナンス
- ログ
- 設定
- ヘルプ



ショートカットアイコンにより、ほとんどの一般的なタスクにすばやくアクセスできます。



新しいオンボードビデオにより、プレイボタンを押すぐらいの手軽さで一般的なタスクを実行できます。

ダウンタイムを低減し、管理を簡素化する、新たな統合型 GC Assist インタフェース

GC Assist は、メンテナンスと診断を新たなレベルに押し上げます。

System Health Report			
Device	Maintenance Task	Last Performed	Count
Front ALS	Replace Syringe	-	0
Column 1	Bakeout Column	-	0
Column 1	Install Column	-	0
Column 1	Remove Column	-	0
Column 1	Replace Column	-	0
Column 1	Trim Column	-	0
Front Detector	Clean FID Collector	-	0
Front Detector	Replace FID Collector Assembly	-	0
Front Detector	Replace FID Ignitor	-	0
Front Detector	Replace FID Jet	-	0
Front Inlet	Clean Inlet	Fri 24 Oct 2025 07:09:12 AM -05	2
Front Inlet	Replace Gold Seal (bottom)	-	0

8890B GC ディスプレイまたはブラウザで GC シグナルデータをリアルタイムで確認できます。

< Overview

Inlets Maintenance

Perform Maintenance

Front Inlet - SS

Back Inlet - MMI

Part	Status	Reset All
Liner o-ring age	1 month 4 days	
Liner o-ring injections	0 injections	
Septum injections	0 injections	
Split vent trap age	11 months 2 weeks	

STATUS: NOT READY

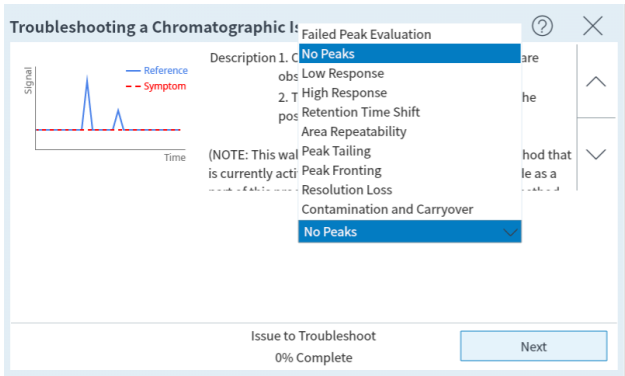
Sequence

Method

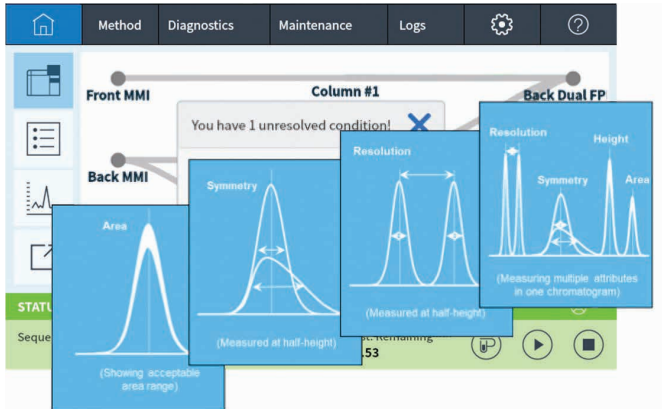
Sample

Est. Remaining
3.10

統合型 GC/MS インテリジェンスが、微量汚染源に対するブランク評価の使用などの診断機能を実現します。これらの診断手順は、多く場合、品質管理プロセスの一環として、規制機関によって求められています。



8890 GC のトラブルシューティング機能は、継続的なシステム監視に加え、ガイド付き診断および実行可能なアラートを組み合わせることで、ユーザーが問題の根本原因を迅速に特定できるよう支援します。また、自動チェックによって問題を早期に検出するだけでなく、装置インターフェース上でステップバイステップの診断ガイダンスと推奨される対応策を提供します。



GC クロマトグラフィーが期待通りに動作していることを確認できます。GC 検出器データのピーク評価の診断は、ターゲットピークに対してリテンションタイム、面積、高さ、対称性を分析することが可能です。これらの結果を時系列でトレンド化し、レポートすることで、ユーザーはシステム性能を迅速に確認し、分析結果に影響が及ぶ前に問題を検出できます。

包括的な診断がシステムの状態を維持し、GC Assist で稼働時間が最大化

想定外の機器ダウンタイムは、ラボ運用に大きな混乱をもたらします。問題の原因がわからない場合は、さらに深刻です。8890B は動作状態を自らモニタリングし、システム状態のレポートをリアルタイムで表示します。

システム状態機能：

- ユーザーによる診断テスト
- 自動診断テスト
- GC 状態パラメータモニタリング
- セルフガイド診断トラブルシューティング

その他の機能：

- アーリーメンテナンスフィードバック (EMF) カウンタ
- GC パフォーマンスモニタリング
- セルフガイドメンテナンス手順
- 優れたメソッド診断
- 結果の保存
- 改善されたヘルプガイド

持続可能性と ビジネスの成功の ためのパートナー

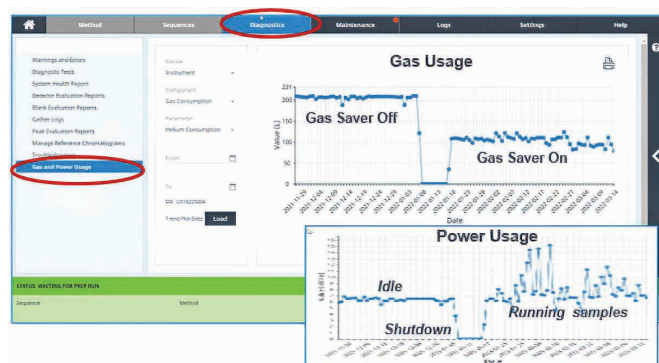


持続可能という考え方により、製品、プロセス、サプライチェーンに対する研究者、科学者、メーカーのアプローチが変化しています。しかし、ラボにとって、継続的にワークフローを最適化してコストを抑制しつつ、環境への影響を低減することは容易ではありません。

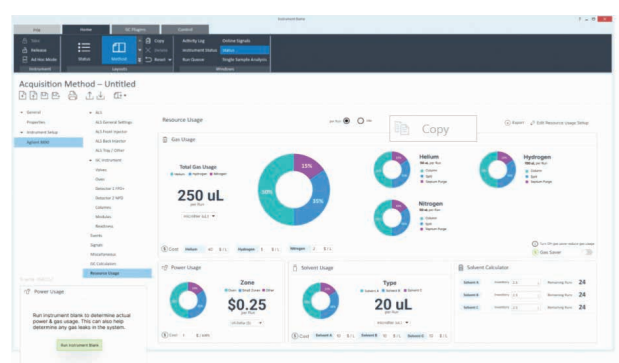
GC および GC/MS システムは多大な資源を要するため、これらの機器を有するラボには、持続可能性に関する独自の課題があります。8890B は新しいリソース管理機能により、より持続可能な慣行に向けてサポートします。

新しいガスと電力使用量のレポートにより、資源をモニタリングし、収益性を向上

現在のラボ運用は持続可能性の目標を中心に据えており、機器や資源の利用状況を明確に把握する必要性が高まっています。8890B GC は、タッチスクリーンや GC Assist から数秒でアクセスできる統合型リソース管理ツールを備えており、ガス消費量を最適化し、消耗品の寿命を延ばし、ラボの環境への負荷を最小化します。



ガス/電力使用量のトレンドチャートにより、アイドル、スリープ/ウェイクメソッド、システムシャットダウン中のガス効率を確認できます。



メソッドベースのガス、溶媒、電力モニタリングにより、無駄の可能性についてアラートで通知します。例えば、実際のガス使用が予測よりも 10 % 高い場合、ガスリークの可能性を警告するポップアップが表示されます。次に、リークおよび制限メンテナンス手順の説明が表示されます。

ヘリウム使用を管理して、分析中断を回避し、環境を保護

ヘリウムは、GC および GC/MS 分析で長い間選択されてきたキャリアガスです。しかし、世界的なヘリウム不足により、ヘリウムガスが入手しづらくなってコストが増加し、ガスクロマトグラフィーに依存するラボの日常業務が危機にさらされています。ヘリウムを節約し、代替キャリアガスに変換するためには、いくつかの戦略があります。

キャリアガス切り替えスイッチ

ヘリウムポンプの寿命が最大 30 倍まで延長されます。[アジレント](#)のキャリアガス切り替えスイッチを使用すれば、GC 分析時にはヘリウムを利用し、GC のアイドル時には他のガス（窒素など）に切り替えることができます。これは、ラボの運用コストをより適切に管理し、ワークフローの中断を回避できるといことです。



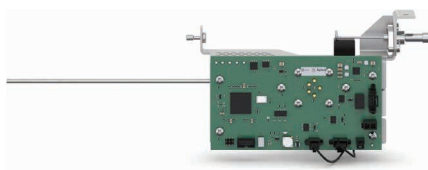
代替キャリアガスのサポート

水素や窒素などの代替キャリアガスは、人気の高い低コストオプションです。

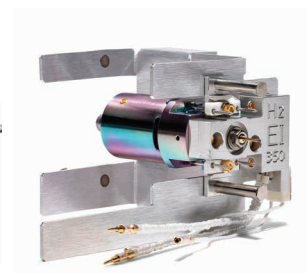
[Agilent 水素センサモジュールシリーズ 2](#) オプションにより、H₂ ガスを使用している場合の安心感が高まります。

[Agilent Hydrolnert イオン源](#)は、H₂ を用いる場合の感度の低下とスペクトルの変化を抑制します。さらに、

- 水素化の影響を受けやすい化合物であっても、信頼性の高いスペクトルを維持します。
- とりわけ多環芳香族炭化水素（PAH）など、高沸点成分のピーク形状を向上させます。



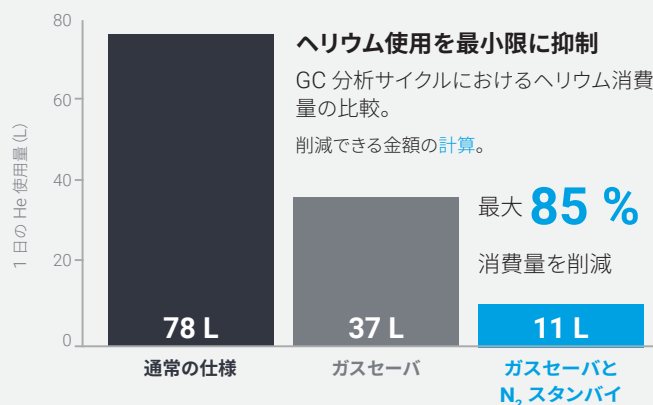
Agilent 水素センサモジュールシリーズ 2



Agilent Hydrolnert イオン源

GC/MS キャリアガスの節約や切り替えに役立つ情報源

- [ヘリウム不足の問題に対応](#)
- [キャリアガス切り替えコスト節約カリキュレータ](#)
- [Agilent EI GC/MS 機器でのヘリウムから水素へのキャリアガス切り替えユーザーガイド](#)
- [アジレントの水素安全マニュアル](#)



アジレントは、インテリジェンス、生産性、持続可能性は相互に関連していると考えています

持続可能性への取り組みは、アジレントの事業活動と、お客様の課題への対応における不可欠な要素です。生産性を向上して、精度と競争力を維持しつつ、ラボの持続可能性の目標を達成できるようお手伝いいたします。

My Green Lab とのパートナーシップ

アジレントは My Green Lab と協力し、ACT ラベル（Accountability = 説明責任、Consistency = 整合性、Transparency = 透明性）の取得に向けて、自社の機器の独立監査を受けています。ACT ラベルは、製品とそのパッケージの製造、使用、廃棄による環境への影響に関する情報を提供し、購入者が情報に基づいて持続可能な選択をできるようにするものです。Agilent 8860、8890、8850 GC システムは総合的に評価され、ACT ラベルを獲得しました。



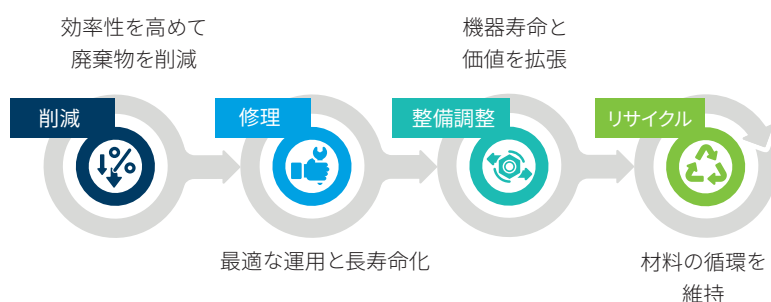
下取りおよび買取り（日本では未対応）

アジレント下取り・買取りプログラムは、撤去、配送、梱包、通関手数料まで、すべて無料で機器を回収します。プログラムは 20 か国以上で利用でき、可能な場合は再使用できる返却用梱包材を使用します。機器を返却して現金やクレジットに交換できます。

ラボ機器のための廃棄物削減戦略

より持続可能なラボを構築することは、気が遠くなるような作業に思えることがあります。アジレントは、資源消費量を低減し、廃棄物を最小化するために、ラボを支援するためのプログラムやサービスを幅広く提供しています。移設や修理から、下取り、リサイクル、再使用プログラムまで、これらのソリューションは、機器の寿命を延ばし、運用効率を向上させつつ、循環型経済の原理を前進させ、より持続可能なラボ環境を促進します。

アジレントはラボをサポートします

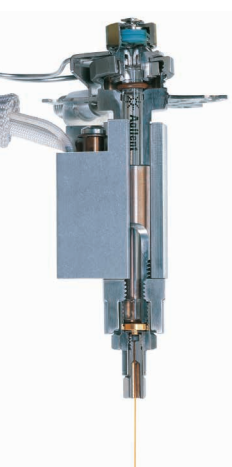


分析ワークフロー全体が可能な限り最高の状態で機能することを
確保する、消耗品、ソフトウェア、サポートのエコシステムにより、
投資の価値を最大化します。





柔軟な GC 構成ですべての分析ニーズに対応



注入口

さまざまな注入口により、個々のシステムを最適化：

- スプリット/スプリットレス (SSL)
- 不活性スプリット/スプリットレス (SSL)
- マルチモード注入口 (MMI)
- パージパックド注入口 (PPIP)
- プログラブルクールオンカラム (PCOC)
- 溶媒蒸気排出クールオンカラム注入口 (COC-SVE)
- プログラブル温度気化注入口 (PTV)
- ボラタイルインタフェース (VI)
- 高圧ガスサンプル注入デバイス (HPID)
- ガスサンプリングバルブ (GSV)
- 液体サンプリングバルブ (LSV)

検出器

あらゆるサンプルタイプに対応する高感度検出器：

- 質量選択検出器 (MSD)
- トリプル四重極 MS
- 四重極飛行時間型 (Q-TOF)
- 水素炎イオン化検出器 (FID)
- 熱伝導検出器 (TCD)
- マイクロ電子捕獲型検出器 (μ -ECD)
- 炎光光度検出器、シングルまたはデュアル波長 (FPD)
- 窒素リン検出器 (NPD)
- 化学発光硫黄検出器 (SCD)
- 化学発光窒素検出器 (NCD)
- GC 用真空紫外検出器 (VUV)
- 原子発光検出器 (AED) *
- パルス炎光光度検出器 (PFDP) *
- 光イオン化検出器 (PID) *
- 電解質伝導度検出器 (ELCD) *
- ハロゲン選択型検出器 (XSD) *
- 酸素検出器 (O-FID) *
- パルス放電ヘリウムイオン化検出器 (PDHID) *

柔軟性とスループットを最大化

Agilent 8890B GC は最大 4 台の検出器コントロールを搭載でき、サポートされているサンプリングバルブ構成に対応します。また、4 つすべての検出器から同時にシグナルを収集できます。

- | | |
|-------|----------------|
| - FID | - FPD/デュアル FPD |
| - TCD | - SCD/NCD |
| - NPD | - ECD |

さらに、アジレント独自のコアアーキテクチャを採用した新しい第 6 世代の EPC 設計により、最大 8 個の EPC、PCM、PSD を 8890B GC 上で構成できます。



* アジレントチャネルパートナーから提供されます。カスタム構成についてはお問い合わせください。アジレントチャネルパートナーを通じてその他のソリューションも利用できます。

外付バルブオープンでガスサンプリングオプションを拡張

アジレントのラージバルブオープン（LVO）は、多機能で大容量の外部オープンで、複雑なマルチバルブ GC アプリケーションをサポートするように構成できます。これにより、単一の GC システムで複数の ASTM および EN メソッドを導入できるため、ラボスペースの節約が可能です。

また、LVO は、最大で 6 つのバルブに均一の等温環境と、メンテナンス、調整、またはカスタマイズのためのオープンアクセス環境を提供します。扱いやすさ、容量、および熱の均一性により、アジレント LVO は、複数の分析を 1 台の GC プラットフォームで実施するのに適しています。この他、次のような利点があります。

- メンテナンスとサービスが容易
- 構成可能なアナライザ
- 最大で 14-ポートバルブを使用した 6 つのバルブポジションと 2 個のマイクロバルブ
- オプションのバルブ構成で、1 つの加熱 GC ゾーンだけを使用可能



アナライザ

Agilent GC および GC/MS アナライザは単なる機器ではなく、包括的なワークフローソリューションです。キャピラリ・フロー・テクノロジーやターゲット化合物データベースなど、各ラボ固有のアプリケーションに合わせてシステムを最適化する革新的な機能が組み込まれています。

各アナライザには、あらかじめ設定された出荷検査時のクロマトグラムのレポートと確認用サンプルが付属し、分離機能の確認を実施できる状態で届けられます。これにより、設置の完了と同時にシステムバリデーションを開始できるため、メソッド開発コストを大幅に削減できます。もちろん、問題が生じた場合には、アジレントのサポートチームがいつでも対応します。



エネルギーと化学 GC アナライザ



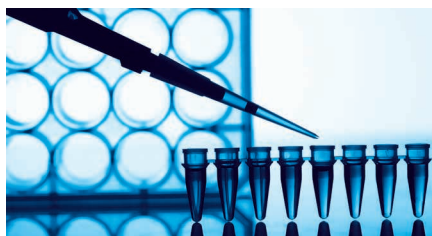
ガス不純物測定 GC アナライザ



溶存ガス GC アナライザ



環境 GC アナライザ



法医学 GC アナライザ



医薬品 GC アナライザ

アジレントのオートサンプラ：8890B GC に完全に対応

アジレントオートサンプラはマニュアルエラーを低減し、サンプル注入時の比類のない再現性を実現します。16 サンプルまでの小規模な分析から最大 150 サンプル以上の大規模な分析まで、オートサンプラがあれば作業を順調にスケジュールどおりに進めることができます。



7693A ALS
16/150-バイアルキャパシティ

GC の可能性を追求するオートサンプラ

Agilent 7693 シリーズオートサンプラ (ALS)

Agilent 7693 シリーズ ALS は、あらゆる GC オートサンプラで最高の注入速度を誇り、熱ディスクリミネーションをほぼ完全に除去します。3 層サンドイッチ注入、加熱、混合、バーコード読み取りなどの高度な機能により、ばらつきや操作ミスを最小に抑えることができます。さらに、モジュール構成のデザインのため、ラボの拡張に合わせて 16 バイアルから 150 バイアルまでのアップグレードが可能です。

高精度の中容量バイアル

Agilent 7650A オートサンプラ (ALS)

1 日の処理量が 50 サンプル未満のラボは、堅牢な Agilent 7650A ALS でサンプルスループットを大幅に向上させることができます。7693 シリーズ ALS と同じ高速注入が可能で、熱ディスクリミネーションがほぼ発生しません。さらに、3 層サンドイッチ注入の拡張サンプリング機能も備えています。



7650A ALS
50-バイアルキャパシティ



PAL3 シリーズ 2 オートサンプラ

高度なサンプル前処理機能により生産性が大幅に向上

PAL オートサンプラシステム

PAL3 シリーズ 2 プラットフォームは液体注入用に容易に構成でき、大容量注入 (LVI)、複数のバイアルサイズ、サンプルバイアルの容量の拡張に対応します。液体注入、ヘッドスペース、および固相マイクロ抽出 (SPME) アプリケーションに最適です。

さまざまなサンプルマトリックスから揮発性化合物を自動的に導入

Agilent 8697 ヘッドスペースサンプラ

Agilent 8697 ヘッドスペースサンプラは、習得、使用、メンテナンスが容易です。Agilent 8890、8850、8860 GC と直接統合することにより、システム全体を最適に動作させるのに必要なタスクについて、ユーザーを専門的にガイドできます。これらのタスクには、自動リークチェック、ガイド付きトラブルシューティング、ダウンロード可能なシステムログ、リテンションタイムおよび分解能のグラフ作成、消耗品トラッキングなどがあります。



8697 ヘッドスペースサンプラ
48/120-バイアルキャパシティ

質量分析性能により、検出と同定において最高の信頼性を実現

8890B GC は、Agilent シングル四重極、トリプル四重極、および Q-TOF システムに完全に対応しています。



可能性を発見

Agilent 5977C GC/MSD

堅牢性に優れ、日々の分析で安定した性能を発揮します。環境中の不純物、食品分析、化学および石油化学分析、法医学および医薬品化合物の分析に最適です。システムインテリジェンス機能により、より実用的なモニタリングを簡単に実行できます。



生産性が大幅に向上

Agilent 7000E トリプル四重極 GC/MS

分析困難なマトリックスでも複数のクラスの多成分残留分析が可能です。Agilent 7000E GC/TQ なら必要な分析結果を確実に得ることができます。スマート診断やモニタリングなどの機器インテリジェンスが組み込まれているため、ダウンタイムを短縮でき、操作も簡単です。



あらゆる限界を克服

Agilent 7010D トリプル四重極 GC/MS

Agilent 7010D GC/TQ で性能を劇的に向上 HES 2.0 イオン源技術により超微量レベルの検出下限を達成できます。また加熱された一体型金メッキ四重極により、稼働時間を大幅に延ばして優れた分析結果を得ることができます。



同定、定量を簡略化

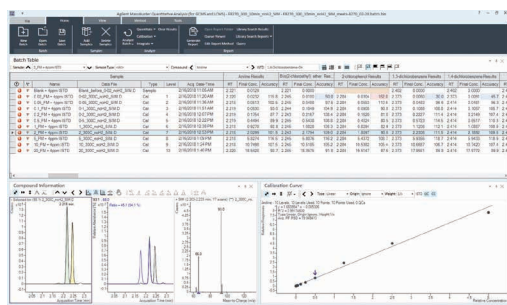
Agilent 7250 GC/Q-TOF システム

数々の革新技術を搭載した一体型の Agilent 7250 GC/Q-TOF システムと、豊富な解析機能を備えた Agilent MassHunter ソフトウェアがあれば、きわめて困難な同定、定量、研究課題でも信頼性の高い結果が迅速に得られます。



プレッシャーなく精度を確保する包括的な GC ワークフロー

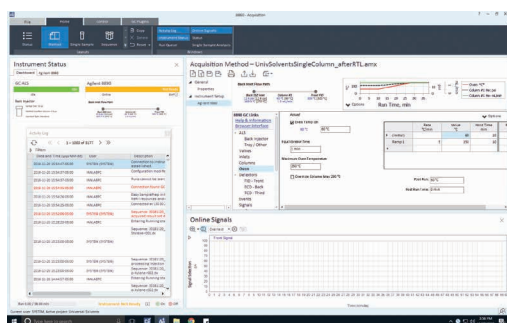
規制が変化し続け、納期が厳しくなる中、必要なのはハードウェアに留まりません。次の行動を加速するワークフローが必要です。50 年間の分析に関する革新技術を活用し、ラボがコンプライアンスを遵守し、つながり接続を維持し、すべてを完全に制御できるようにします。



操作を簡素化し、生産性を向上

Agilent MassHunter ソフトウェア

- 優れたデータ収集、処理、レポート作成機能
- GC および GC/MS の包括的サポートにより、アプリケーション固有のワークフローに対応
- シングル四重極、トリプル四重極、GC/Q-TOF など、アジレントのあらゆる GC 機器と GC/MS 機器を共通のソフトウェアプラットフォームで管理
- MassHunter Quantitative Analysis と Quant-My-Way カスタマイズを使った化合物ベースの解析およびレポート作成ワークフローで、環境マトリックスや食品マトリックスなどの複雑なサンプルを分析
- リテンションタイムロッキング MS ライブラリ、MRM データベース、高分解能パーソナリ化合物データベースライブラリ (PCDL) などのアプリケーションに特化したソフトウェアにより、データ解析を簡素化



データの収集、解析、共有

Agilent OpenLab CDS

- アジレント製 GC、LC およびシングル四重極 MS、および他社製 GC、LC のワークフローを最適化
- 新人スタッフでも簡単に使用できるソフトウェアと直観的なヘルプ & ラーニング
- 権限に基づくアクセス制御と包括的な監査証跡により、品質と信頼性を維持
- ピークエクスペローラで大量のデータセットを視覚化し、データ確認を高速化
- カスタマイズ可能なレポートでのハイライト表示により、仕様外の結果を識別
- OpenLab サンプルスケジューラと LIMS の統合により、時間のかかる一般的な作業を自動化



製品の価値を高める Agilent カラム、消耗品、サービス

アジレントの厳しい仕様と安定した品質は、測定器の感度と性能の向上をもたらします。あらゆるアプリケーションについて、完全なソリューションを構築するために必要な消耗品を、アジレントだけで揃えることが可能です。さらに、包括的なワークフローガイドには、アジレントチームの経験と専門知識が詰まっています。

GC カラム

Agilent J&W GC カラムは、きわめて低いブリード、優れた不活性度、確実なカラム間再現性を実現します。5 インチキャピラリカラムとパックドメタルカラムの幅広い選択肢で、あらゆるニーズに対応します。

[詳しくはこちら](#)

ノンスティック BTO セプタム

コンディショニング済みのブリード/温度最適化 (BTO) セプタムは、流路汚染のリスクなく、注入口の使用温度を最大 400 °Cまで維持するように設計されています。[詳しくはこちら](#)

ウルトライナート金メッキ GC 注入口シール

スプリット/スプリットレス注入口でのリークを解消し、感度を向上させて、カラムの寿命を延ばします。

[詳しくはこちら](#)

グラファイト/ポリイミドカラムフェラル

高性能ポリイミドとグラファイトの材料特性を併せ持ち、変形に強く、流路への酸素の侵入を防ぎます。

[詳しくはこちら](#)

ウルトライナート注入口ライナ

ライナ内部全体で発生し得る活性点を排除する、独自の不活性化プロセスを採用したイナートライナです。

[詳しくはこちら](#)

ガスクリーンフィルタキット

カラムの損傷や感度の低下を軽減します。ガスクリーンフィルタが汚染のないガスラインを保証します。また、スマートセンサは、フィルタが飽和状態になり、交換が必要になったときに警告を発します。

[詳しくはこちら](#)

ADM フローメータおよび電子リーク検出器

GC フローパスにおいて重要なリーク検出と流量測定の間方を、1 台のハンドヘルドカートリッジシステムで実施できます。[詳しくはこちら](#)

GC オートサンブラシリンジ

サンブラのストロークメカニズムに合わせた特殊なプランジャヘッドを備えています。これにより、注入精度が向上し、プランジャの寿命が長くなります。[詳しくはこちら](#)

セルフタイトカラムナット

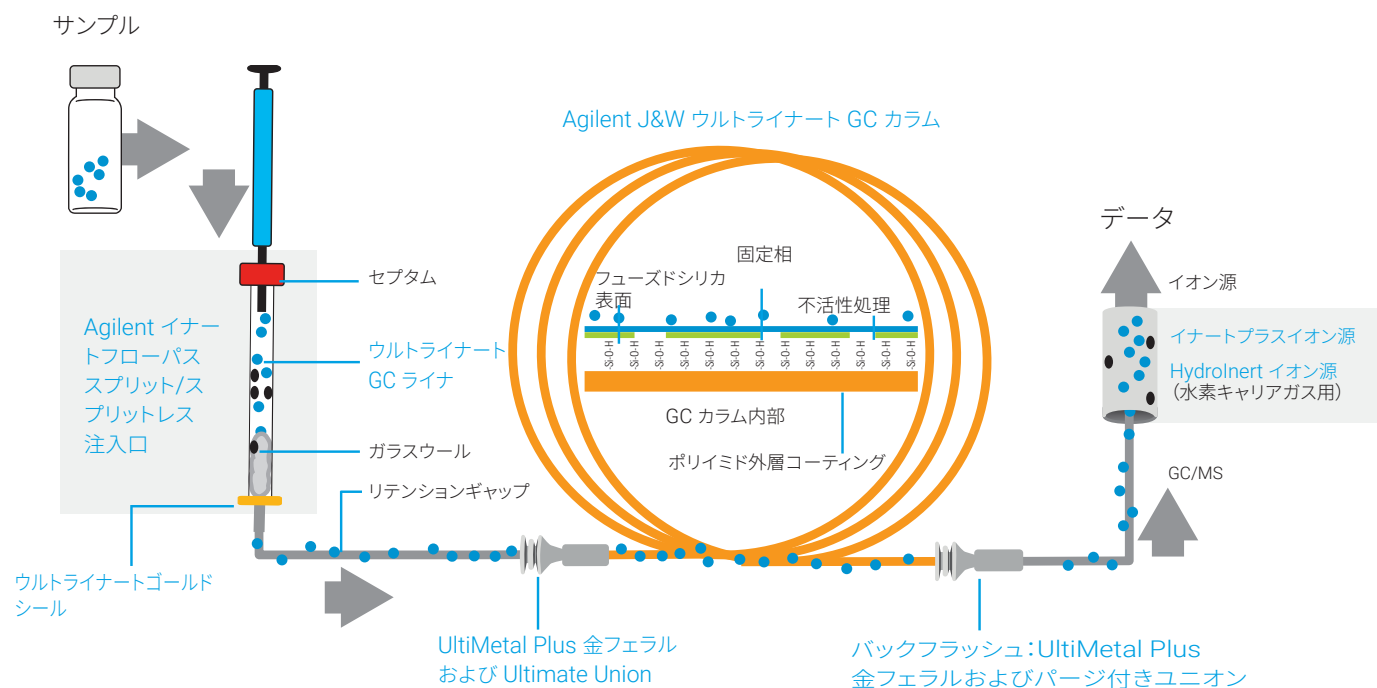
この画期的な設計のカラムナットは、MS や ECD など、特に酸素の影響を受けやすい検出器に最適です。数百回の注入後も確実な接続でリークのないシールを維持します。[詳しくはこちら](#)

アジレント検出器の純正交換パーツ

バックグラウンド干渉、ノイズレベル、レスポンスの変化を大幅に減少させつつ、性能、信号出力、稼働時間を最大限に向上させます。すべてのパーツはアジレントのサービス契約の対象で、さらに出荷日から 90 日間の保証が付いています。[詳しくはこちら](#)

不活性な流路の構築により、確実な分析結果を提供

サンプルが少量化し、従来よりも活性の高い化合物をより高い信頼性で測定するニーズが高まり、分析の複雑さが増すにつれ、サンプルの流路の活性によって引き起こされる損失は、もはや許されないものになっています。得られる結果が疑わしい状況をいくら繰り返したり確認したりしたところで、貴重な資源が無駄になるだけです。また、生産性を妨げ、その影響は収益にまでおよびます。さらに、活性化化合物の量がわずかであれば、十分なサンプルが残っていない可能性があるため、再分析さえできないことがあります。



高精度、高感度な GC/MS 分析

アジレントの不活性流路ソリューションでは、化学的な活性が高い環境サンプルの分析や依存性薬物のスクリーニングなどを高い感度、精度、直線性、再現性で実行できます。

見えない価値を目に見える成果につなげる



Agilent CrossLab は、サービスと消耗品を統合することで、お客様のワークフローをサポートし、生産性や運用効率の向上を実現するためのお手伝いをさせていただきます。あらゆる場面で「見えない価値」を提供し、お客様の目標達成を支援します。メソッド最適化やトレーニングから、ラボ全体の移設や運用分析まで、最高の性能を実現するために、機器とラボの管理に役立つ製品とサービスを幅広くご用意しています。

[Agilent CrossLab サービス](#)の詳細はこちら。

Agilent GC は初めてですか? Agilent 6890 GC からの移行ですか?

ラボに新しい機器を追加するときの経験に、同じことは 2 つとしてありません。アジレントは、柔軟性のあるサービスとサポートオプションでラボの成功をお手伝いいたします。



Agilent CrossLab 据付

[Agilent CrossLab 据付](#)により、すべてのハードウェアと関連ソフトウェアの適切な開梱と据付が保証されます。お客様の新しい GC システムについて、不具合がなく、すべてが揃っていて、製造仕様と照らし合わせて検査済みで、トレーニングを開始できる状態であることを、アジレントのエキスパートが確認します。



Agilent CrossLab メソッドコンサルティングサービスおよび Agilent University

[メソッドコンサルティングサービス](#)では、ラボのワークフローの改善と拡張を検討されているお客様に対してアジレントの専門知識を提供します。メソッドメンテナンス、メソッド最適化、メソッド実装、メソッド開発の 4 つの主要な内容で構成されています。

[Agilent University](#) が提供する、柔軟でコスト効率の高いトレーニングオプションは、効率の向上やダウンタイムの大幅な低減に役立ち、ラボの運用を支援します。対面、バーチャル、オンラインなど、お客様に最適なトレーニング方式をお選びいただけます。



Agilent CrossLab サービスプラン

[Agilent CrossLab サービスプラン](#)、オンデマンド修理、メンテナンスサービスは、生産性を維持し、ダウンタイムを最小化するのに役立ちます。



Agilent CrossLab Connect Smart Alerts

[Agilent CrossLab Connect Smart Alerts](#) は機器の状態を把握するための情報を提供し、予定外のダウンタイムを低減するとともに、機器性能を維持することで最適なスループットを実現します。[CrossLab Connect](#) の一部である Smart Alerts は、即時の機器停止や、メンテナンスを実施したり主要な消耗品を交換するタイミングについて通知します。また、リモートアシスト機能を使用して、アジレントに直接サービスリクエストを送信することも可能です。

サービスとサポートを支える人材

Agilent CrossLab がもつグローバルネットワークがお客様にさまざまな見えない価値を提供し、成功へと導きます。機器のメンテナンスや修理、移設、機器管理サービスから、コンプライアンス、ソフトウェアソリューション、コンサルティング、教育にいたる多彩なサービスにより、アジレント機器はもちろん他社製機器まで幅広くサポートします。目に見える成果につながるラボ運営への最短ルート、それが Agilent CrossLab です。



CrossLab のサービスエンジニアが特別な理由

10 年

機器修理の
平均経験年数

96 %

すぐに調達できる
部品の割合

数百万種類

全世界の物流センターでそろう部
品の数

85 %

初回訪問で
修理が終わる割合



30,000

技術スタッフのトレーニング日数

>1,850

全世界の
フィールドサービスエンジニア数

50 種類以上

対応可能な
技術プラットフォーム

1 ~ 2 日間

優先サービスの連絡から
修理完了までの通常のスピード

10 年間の価値を保証

アジレントは、品質システム設計および製造に関して、比類のない業界水準を誇っています。アジレントバリュープロミスには、その信頼性の高さが反映されています。

アジレントバリュープロミスは、アジレントのクロマトグラフィー、質量分析計、分光光度計などの製品のご購入日から 10 年間、製品の性能を保証するもので、アップグレードの際には製品の残存価値に見合った導入プランをご提案します。投資による利益を最大限に高めながら、システムを変えらぬ価値で末永くご利用いただけます。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE-014602

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2025
Printed in Japan, May 20, 2026
5994-9205JAJP